

9月24日(金)  
繊維ニュース

# PP系の生産を軌道へ

## 来年加工機導入で一貫生産

### 藤井燃糸

藤井燃糸(四日市市)は新たに導入したポリプロピレン(PP)溶融紡糸機でPP系の生産を軌道に乗せる。来年にはヒートセット加工機を導入する予定で、紡糸から燃糸、加工までの一貫生産体制を築く。

稼働を開始している。既存の設備を含めて現在は2台体制。稼働から徐々に生産量は上向きつつあり、今期(2022年3月期)は前期比6割増の3100トを見込む。

果を發揮させていく(藤井由幸会長兼CEO)。カットパイルのカーペットでは、パイル系の燃りがほどけるとカーペットのソフトさが失われてしまう。そのため同社ではPP系の燃りが戻らないように蒸気でセットした糸を生産するのに加工機を活用する。

家庭用カーペット向けにPP系の訴求を図るため来年にはヒートセット加工機を1台導入し稼働を始める。溶融紡糸機と合わせて、「垂直統合」効果

加工機は本社工場に設置し人員も新たに補充する。ガラス繊維の燃糸で使用する設備を一部整理し設置スペースを確保した。ガラス繊維の加工は今後も維持していく。資金は中小企業庁の事業再構築補助金を活用した。



4月から稼働を始めたPP溶融紡糸機

今上半期の業績は減収減益を見込む。世界的な需要の高まりでナイロンの供給が停滞している影響を受け、ナイロンの糸加工が滞った。通期ではPP系の生産量が増えることを見据え増収増益を計画する。

ハンドタフテッド オーダーラグ  
ORDER RUG COLLECTION